

本会理事春日昭夫氏の *fib* 副会長就任をお祝いして

二井谷 教治*

本会理事であり *fib* (国際構造コンクリート連合) の日本の代表 Delegate である三井住友建設株式会社の春日昭夫氏が、2019年1月から *fib* の副会長に就任されました。*fib* は、1998年に CEB (ユーロ国際コンクリート委員会) と FIP (国際プレストレス連合) の合併によって設立されましたが、それ以来、会長および副会長は、オーストラリアの Jim Forbes 氏の1名以外はすべてヨーロッパから選出されてきたことを考えると、まさに快挙といえます。

fib コングレスは、2002年に記念すべき第1回が大阪で開催されて以来、4年に1度開催されています。2018年には、第5回 *fib* コングレスが、10月7日から11日にかけてオーストラリアのメルボルンで開催されました。8日に行われた開会式に先立ち、7日の午前中に *fib* の General Assembly (総会) が開催されました。

総会は、加盟各国の代表者で組織され、毎年シンポジウムかコンgressに併せて開催されます。総会では、規則の改正、モデルコードを含む技術的成果物、予算および決算、会員の加入、および名誉会員や名誉会長の承認等を行います。また、総会では、その任期が2年である会長および副会長を選出することになっており、10月にメルボルンで開催された総会で、改選が行われました。現在、*fib* の加盟国は45カ国にのぼり、投票権は、国ごとに異なるため、現在の総投票権数は、88票となっています。ちなみに、日本は、4票の投票権を有しています。この総会で、ノルウェーの Tor Ole Olsen 氏が次期会長として、そして、日本の春日昭夫氏が次期副会長として選出されました。筆者は、日本の Deputy として総会に参加しましたが、日本から副会長が誕生するという、この歴史的瞬間に立ち会え、感激と興奮を覚えました。草創期から発展期にかけて、欧州から学ぶという立場だったわが国の PC 技術が、対等の関係に立った証とも言えます。

春日氏のこれまでの革新的な技術開発、およびコンクリート構造の技術的発展への功績が高く評価されたことは間違いありませんが、それに加え、人望の厚さも、選任の要因であると筆者は感じています。春日氏は、2015年から *fib* の Pridium (最高幹部会) のメンバーを務められていま

すが、メンバー内での会話では、'Mr. Kasuga' ではなくつねに 'Akio' であることから、そのことが窺えます。

春日氏は、Pridium メンバーであるとともに、現在、Commission 10 (Model Codes) の副主査、Commission 1 (Concrete structures,)、Commission 5 (Reinforcements) および Commission 7 (Sustainability) の委員としてご活躍されています。春日氏が携わってこられた技術開発や、数々の受賞歴については、紹介するまでもありませんが、世界初の PC エクストラドーズド橋である小田原ブルーウェイブリッジが、1998年に FIP 賞を受賞しています。2006年には青雲橋が、世界的に優れたコンクリート構造物に贈られる *fib* の Outstanding Concrete Structures の最優秀賞を受賞し、2018年のメルボルンでは、副会長への選任と同時に、パタフライウェブ PC 橋の田久保川橋が、同賞を受賞しました。

下の表は、歴代の *fib* 会長を示しています。副会長が次期の会長に就任することが通例となっており、Akio Kasuga の名前が会長として刻まれるのも間もなくです。現在、アジアからの *fib* 加盟国は、日本、中国、インド、韓国、インドネシア、タイの6カ国ですが、これを契機にアジアの国際化も加速化していくものと思います。

fib の歴代会長

年 代	会 長	国 名
1998-2000	Michel Virlogeux	フランス
2001-2002	J oost Walraven	オランダ
2002-2004	Jim Forbes	オーストラリア
2005-2006	Giuseppe Mancini	イタリア
2007-2008	Hans Rudolf Ganz	スイス
2009-2010	Michael Fardis	ギリシャ
2011-2012	György Balázs	ハンガリー
2013-2014	Gordon Clark	イギリス
2015-2016	Harald S. Müller	ドイツ
2017-2018	Hugo Corres	スペイン
2019-	Tor Ole Olsen	ノルウェー

春日氏は、「ここまでくるのに20年かかった。」とおっしゃっていました。この言葉に筆者は、春日氏のこれまでの数々の業績と確かな技術力による裏付けだけでなく、ご自身の関わられた技術を含む、わが国の優れたプレストレストコンクリート技術を、世界に発信するという強い信念を持って国際舞台に臨まれてきたのだと確信しました。春日氏のこれまでのご努力に尊敬の念を抱くと同時に、われわれは *fib* 副会長ご就任を喜んでいるだけではいけない、春日氏の貴重な20年間を無駄にしないように、第2の 'Akio' を育てていく義務があると強く感じているところです。

【2018年12月17日受付】



メルボルンでの General Assembly の様子

*Kyoji NIITANI : オリエンタル白石 (株) 技術本部 技師長